

【報道関係各位】

～使い勝手の良い高機能コンジョイント分析シミュレーターを独自開発～
 シェア予測ソフト【 Scenario Simulator™ 】提供開始のお知らせ

2011年7月29日
 株式会社マクロミル
 (証券コード：東証一部 3730)

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉、以下マクロミル）は、コンジョイント分析におけるシミュレーション工程を劇的に効率化させる高機能シミュレーター Scenario Simulator™（日本語版・英語版）を独自開発し、本日より提供開始することをお知らせいたします。

コンジョイント分析とは、商品やサービス選択時の重視点と魅力度を測定し、シミュレーションにより「どこ」を「どの程度」変更すれば消費者に受け入れられるのかを明らかにする分析手法で、欧米では製品開発や価格戦略立案等に広く活用されている手法です。このたびマクロミルが独自開発しました Scenario Simulator™の提供により、これまで煩雑な設定作業が多かったコンジョイント分析調査後のシミュレーション作業を手元のパソコンで手軽に、自在に、スピーディに行うことができます。このたびリリースいたしました Scenario Simulator™の特長は以下の通りです。

■直感的インターフェースと簡単マウス操作で、使いやすさを追求

Scenario Simulator™はコンジョイント分析後のシミュレーション工程を徹底的に簡素化・効率化しました。「シナリオ作成」「アイテム作成」「属性別比較」「データ・グラフのエクспорт」等の一連の工程において、簡単なマウス操作のみで直感的に操作できるようになっています。

■「バッチシミュレーション機能」搭載で、複数シナリオが同時に比較可能

複数のシナリオを同時に計算する「バッチシミュレーション機能」を搭載。「自社価格を変動させて最適な価格を見つけたい」「自社スペックを変えて最適なスペックを見つけたい」など、特定の水準を変化させて最適な施策を決定したいシーンにおいて、複数シナリオのシミュレーション結果を一つのグラフにまとめて表示できるため、最適なパターンをスピーディに把握することができます。

■世界初！配荷率や実売シェアを加味した「リアルなシミュレーション」が可能

従来のシミュレーターでは広告や配荷率などの外部効果の影響を十分に反映しきれない問題がありました。Scenario Simulator™では、配荷率は数百～数千回のシミュレーションによる「モンテカルロ法（ランダム法）」を用いて計算し、より厳密にシェアシミュレーションができるほか、実売シェアと調査上のシェアの乖離を補正する「調整係数」機能を使用しています。これらの世界初※の独自ロジックにより、リアルなシミュレーションを実現します。 ※自社調べ 2011年7月28日時点

 Scenario Simulator™



【従来のシミュレーター】

■水準設定表			
	ブランドA	ブランドB	ブランドC
ブランド	ブランドA	ブランドB	ブランドC
価格	2,000円	1,800円	1,400円
原価	1,000円	900円	700円
服用頻度	1日3回服用	1日3回服用	1日3回服用
内乱量	5日分内乱	4日分内乱	3日分内乱
スイッチOTCである事	スイッチOTCでない	スイッチOTCでない	スイッチOTCでない

■マインドシェア			
	ブランドA	ブランドB	ブランドC
全株 (n=300)	37.8%	25.1%	37.0%
男性 (n=151)	38.6%	22.2%	39.2%
女性 (n=149)	37.1%	28.1%	34.8%
20代 (n=66)	29.4%	17.3%	53.3%
30代 (n=89)	37.2%	29.5%	33.2%
40代 (n=70)	36.6%	36.6%	26.8%
50代 (n=81)	46.4%	17.0%	36.6%
1人用 (n=80)	55.2%	17.5%	27.3%
1人 (n=92)	25.4%	47.1%	27.5%
ペンザブロック (n=92)	26.7%	5.3%	68.0%
エヌタンク (n=10)	43.0%	17.0%	40.0%
コンタック (n=9)	58.1%	36.6%	5.3%
シキエン (n=9)	30.0%	34.1%	35.9%
調整 (n=9)	13.4%	57.4%	28.1%

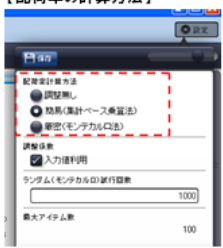
マクロミルは、「手軽で」「安く」「品質の高い」ネットリサーチによって既成概念を変革する”という理念のもと、IT技術を駆使したリサーチ工程の効率化に挑戦し、スピーディで誰もが使いやすいネットリサーチサービスの開発・提供を行ってまいりました。

また2010年8月のヤフーバリューインサイト株式会社（以下YVI）との経営統合を受け、YVIの持つ強みであった高度なソリューション力を用いたサービスの提供を強化しています。世界でも画期的なユーザーインターフェースと機能を併せ持つ「Scenario Simulator™」により、マクロミルはコンジョイント分析調査の後工程であるシミュレーション作業をより効率的かつ精緻なものとし、企業のマーケティングにおける意思決定を強力にサポートしてまいります。

以上

【参考】リアルなシミュレーションを実現する世界初のロジック「モンテカルロ法」および「調整係数」について

【配荷率の計算方法】



① 簡易(集計ベース乗算法)

集計したマインドシェアに配荷率を乗算し、100%に割り戻す方法です。

<問題点>

配荷率が50%の場合でも、配荷されていない場合もマインドシェアの計算に含まれているため、過大評価になってしまふ。

	アイテムA	アイテムB	
マインドシェア(MS)	50%	50%	
配荷率(D)	50%	100%	
MS×D	0.25	0.5	0.75
調整後マインドシェア	33%	67%	

② 厳密(モンテカルロ法)

配荷率に応じて、アイテムが存在する/存在しないのテーブルを再現して、数百~数千のシミュレーションを行い、マインドシェアを算出する方法です。

配荷率に応じてテーブルを作り、配荷されている(店頭)に有)だけでシェアを算出し直します

配荷状況			マインドシェア	
	アイテムA	アイテムB	アイテムA	アイテムB
1回目	店頭に無	店頭到有	0%	100%
2回目	店頭到有	店頭到有	50%	50%
3回目	店頭に無	店頭到有	0%	100%
4回目	店頭到有	店頭到有	50%	50%
.
.
1000回目	店頭到有	店頭到有	50%	50%
配荷率	50%	100%	平均値 25%	平均値 75%

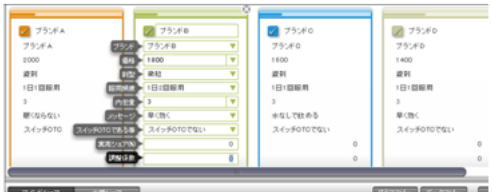
世界初！マクロミル独自機能

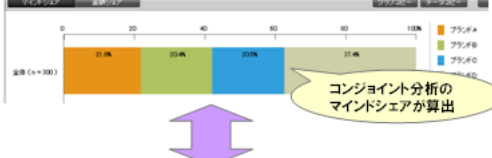
2011/7/28時点 当社調べ

計算方法によってマインドシェアが変わります。普段は「モンテカルロ法」を採用

実売シェアをもとに「調整係数」を算出することで、【外部効果を加味したシミュレーション】が可能です


【実売シェアを設定しない場合】





コンジョイント分析のマインドシェアが算出


【ブランドの実売シェアを「25%」に設定した場合】



実売シェアになるようにシェアが調整されます

調整係数

調査上のシェアと実売シェアの乖離をなくすためにアイテム別に算出される値



調整係数を「外部効果」として固定してシェアシミュレーションが可能です

世界初！マクロミル独自機能

2011/7/28時点 当社調べ

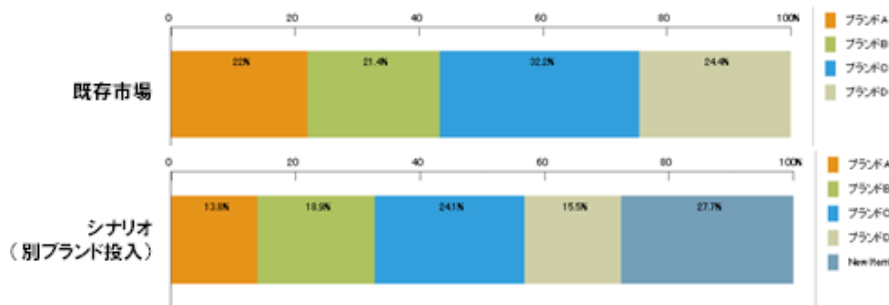
【Scenario Simulator™ 活用イメージ】

例【既存ブランドの別シリーズ投入におけるシナリオ評価】



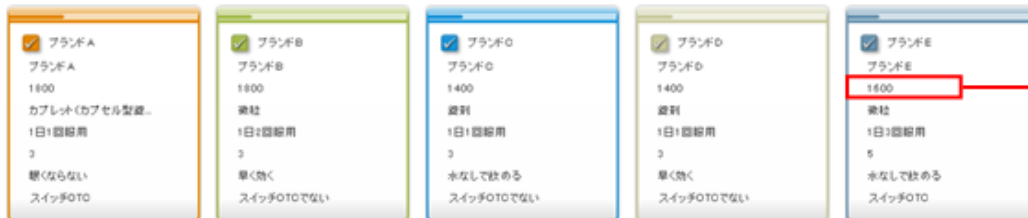
既存ブランドの別シリーズを新規投入

<シミュレーション結果>



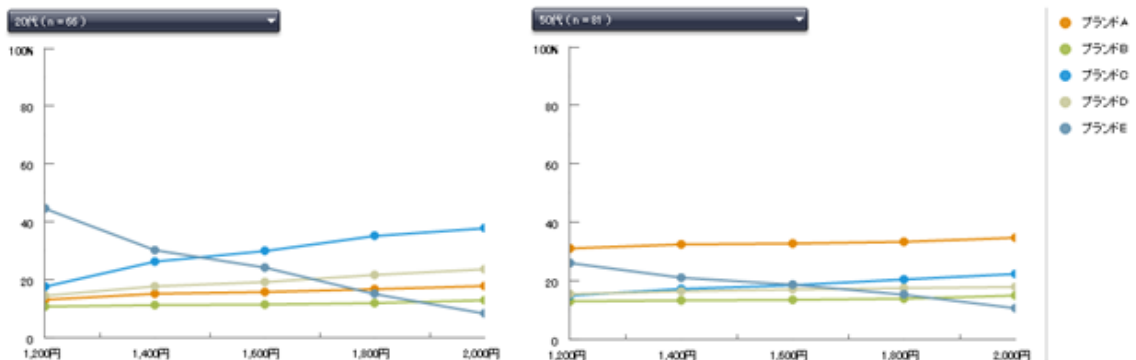
既存ブランドの製品スペックを設定し、既存市場のシェアを算出。その後にアイテム追加で、新製品のスペックを入力することで、新製品投入後のシェアの変化がグラフに自動生成されます。

例【自社ブランドの価格変更におけるシナリオ評価】



金額を 1200円 ~ 2000円に変更

<シミュレーション結果>



自社製品の各スペックを固定して、どの価格がもっとも受け入れられるかを知りたい場合は、バッチシミュレーション。複数シナリオの結果が一つのグラフに表示されるので、どの価格であれば最もシェアがとれるのか、ひと目で確認することができます。属性別のシェアの変化もマウス操作のみで確認できます。

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、インターネットを活用した市場調査サービス「ネットリサーチ」のリーディングカンパニーです。企業の商品開発・サービス改善等のマーケティング活動を支援するため、国内・海外の消費者を対象とするさまざまなマーケティングリサーチサービスの提供を行っています。

社名	■株式会社マクロミル
本社	■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL	■www.macromill.com
設立	■2000年1月31日
資本金	■15億9,785万円 ※2010年6月1日現在
上場取引所	■東証一部 (証券コード: 3730)
代表者	■代表取締役会長兼社長 杉本 哲哉 (すぎもと・てつや)
従業員数	■542名 (うち、契約社員 25名) ※2011年6月末現在
グループ会社	■株式会社エムキューブアンドアソシエイツ 株式会社エムワープ MACROMILL Korea, INC. (韓国) MACROMILL China, INC. (中国)
事業内容	■ 1) インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ) 2) 携帯電話を活用した市場調査 (モバイルリサーチ) 3) 世界各国の消費者を対象とした市場調査 (グローバルリサーチ) 4) 消費者購買動向調査および購買動向データの提供 (QPR™) 5) ネットリサーチ専用 ASP システム AIRs の提供 6) リサーチの企画設計・集計・分析サービス 7) その他リサーチサービス (定性調査など) およびマーケティングに関するコンサルティング業務

—本リリース内容に関する報道機関からのお問い合わせ先—

株式会社マクロミル 広報担当：小能（おのう）
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail: press@macromill.com

—Scenario Simulator の詳細に関するお問い合わせ先—

株式会社マクロミル Scenario Simulator 担当 三好 淳一
フリーダイヤル：0120-096-371 E-mail: support@macromill.com